中四国地連パート部会学習交流会

2015 年 4 月 18 日(土)岡山県倉敷市芸文館第 203 会議室において、中四国地連パート部会主催の学習交流会が開催されました。

今回は今世界中でベストセラーになっているピケティの「21 世紀の資本」の内容を知りたいとの思いがありました。そこで「21 世紀の資本」の入門書「ピケティ入門」を書かれている和光大学教授竹信三恵子さんをお迎えして「「ピケティから見る格差社会とパート労働」との題での学習講演を行いました。午後からは業態別に 4 つのグループに分かれて分散会を行いました。中四国の仲間 65 名が参加して学習と交流を深めることができました。

ほっておくと格差は広がるばかり！税は世論が決めるのです

竹信さんは日本のメディアや学者がピケティを自分の都合の良い様に歪曲し利用していると訴えました。格差がなくなっては困るという学者もいるとのことでした。そして素人だからこそ歪曲することなくピケティを分析できると一念発起し、ピケティ入門を書かれたそうです。

講演は、資料とプロジェクターを使って進められました。「富裕層の収益率に対して所得の伸びが追いつかないため、格差は放置すると広がってしまう。戦争の歴史の中で税制は変化してきた。所得税も戦費調達のために作られた税だ。ピケティの説く世界的資産課税も不可能ではない。」と話されました。

また「ピケティは格差是正の道を提起している。今まで税制は世論が作ってきた。労働組合はメディアを利用するなどあらゆる手立てを駆使してたたかう必要がある。格差是正に最低賃金の引き上げは必要不可欠だ。」と声を出す手段を持つ労働組合の背中を押しました。

参加者の感想からも

・資本、所得の差や格差がなぜ起こるのか分かりやすく聞けた

・このままの政治ではだめなことが分かった

・アベノミクスの全貌がやっとつかめた。情報は自分でつかむ必要性を感じた等

良く分かったという感想が多く寄せられました。難しい話と思いながらも自分の暮らしと直結している話だということが分かり、メディアを信用せず自分の目で確かめることを大切にし、今の運動は間違ってはいないがもっと強める必要があることが分かった学習会となりました。

分散会で働き方の問題がぞくぞくと

午後からは業態別に4つのグループに分かれて分散会をしました。

正規が減らされ非正規への置き換えが進んでいますが、それが顕著な県があったり、同一価値労働同一賃金になっていない辛さや、時給のバラつきのあるアルバイトの話など、様々な問題がでてきました。「聞きたいことが聞けてよかった」「楽しかったので 2 時間が短く感じた」などの感想が出されました。参加者の感想などを参考に今後に生かしたいと思います。

【分散会風景】